

～認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～

認知症初期集中支援チームが活動中です！

身近な方が「認知症かも？」と気になるけれど、病院への相談はちょっと難しい…。
そんな時は**認知症初期集中支援チーム**へ相談してみませんか？

認知症初期集中支援チームとは？

常陸大宮市の認知症に関する事業です。
医療・介護の専門職と、認知症専門医が協力
して活動しているチームです。



どんな活動をするの？

ご本人・ご家族等の所へ訪問し、お話を伺います。
【訪問のメリット】

- ★認知症に精通した医療職への相談がご自宅
等で可能です。
- ★実際の生活環境を確認しながら介護に関
する専門職と相談できます。



どんな相談を受けてくれるの？

40歳以上で在宅生活を送っている方に関しての相談・支援を行います。
チームへの相談例)

- ・認知症が疑われるが、本人に病院を受診してもらえない。
- ・医療や介護サービスを利用してほしいが、本人の拒否などでできない。
- ・認知症の症状が強く、介護や対応に困っている。
- ・認知症治療や介護サービス利用が中断してしまい困っている。 などなど



【常陸大宮市認知症初期集中支援チームへのご相談先】

常陸大宮市 南部地域包括支援センター
北部地域包括支援センター

☎0295-53-6810

☎0295-57-3326

常陸大宮市 長寿福祉課

家族がつくった「認知症」早期発見のめやす

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

出典 公益社団法人認知症の人と家族の会

●ものの忘れがひどい

- ☐ 1 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- ☐ 2 同じことを何度も言う・問う・する
- ☐ 3 しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- ☐ 4 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

●判断・理解力が衰える

- ☐ 5 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- ☐ 6 新しいことが覚えられない
- ☐ 7 話のつじつまが合わない
- ☐ 8 テレビ番組の内容が理解できなくなった

●時間・場所がわからない

- ☐ 9 約束の日時や場所を間違えるようになった
- ☐ 10 慣れた道でも迷うことがある

●人格が変わる

- ☐ 11 些細なことで怒りっぽくなった
- ☐ 12 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- ☐ 13 自分の失敗を人のせいにする
- ☐ 14 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

●不安感が強い

- ☐ 15 ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- ☐ 16 外出時、持ち物を何度も確かめる
- ☐ 17 「頭が変になった」と本人が訴える

●意欲がなくなる

- ☐ 18 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- ☐ 19 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ☐ 20 ふさぎ込んで何をするのも億劫がり嫌がる



いくつか思い当たることがあれば、地域包括支援センターや長寿福祉課にご相談ください。

